

群馬県小学校中学校教育研究会 中学校総合的な学習の時間部会

研究授業 単元「生き方学習 I 自分を知らう」 伊勢崎市立第三中学校 1年3組 中野 典子教諭

総合的な学習の時間部会 研修主題

『自己の生き方を考えるために、地域の特色をふまえて多様な活動を取り入れた探求的な学習活動の工夫』

単元目標

進路適性診断（PASカード）を活用し、協同的に取り組む学習活動を通して、いろいろな視点から自己理解や進路についての意識を高めよりよく生きていこうとする態度を育てる。

本時のねらい

自己理解を深めるために、グループになって意見交流を行い、情報の整理・分析をすることで、新たな自分の発見やさらなる課題を見つけられるようにする

本時の視点

自分と友達の考えを比較する場面で、シンキングツールを用いたワークシートを使い自分の考えを整理することは、それぞれの自己の課題を見いだすことに役立つであろう。

授業について

1. 「私ってどんな人」に取り組む

- ・あてはまると思う言葉を三つ探し記入する
- ・抵抗感を少なくするために、先生が実際にやってみせる

2. グループで意見交流して、 今までと違う自分のイメージに気づいたり、 自分のよさや課題を見つける

- ・他人から見た自分の長所、魅力的なところを知り、今までと違う自分の姿に気づく
- ・選んだ言葉を伝え合い、選んだ理由もそえる
- ・感想だけでなく、これからの課題を明らかになるよう具体的に書く

3. ふい返し、保護者にもメッセージを書いてもらう

「私って、どんな人?～友達編～」NO.1

1年3組 番 氏名

1 自分になんとなく合うなと思う語句を3つ選ぼう。

- | | | | |
|----------|-------------|-----------|----------------|
| 1. 誠実な | 9. しっかりしている | 17. 物知り | 25. 思いやりがある |
| 2. 正直な | 10. ユーモアがある | 18. 積極的な | 26. 正義感がある |
| 3. さわやかな | 11. 悪念の強い | 19. 話し上手 | 27. 落ち着いている |
| 4. 元気 | 12. 発想力がある | 20. 礼儀正しい | 28. 慎重な |
| 5. 明るい | 13. ねばり強い | 21. 頼りになる | 29. 公平な |
| 6. 穏やかな | 14. 表情が豊か | 22. 個性的な | 30. 決断力がある |
| 7. 聞き上手 | 15. あたためたい | 23. 我慢強い | 31. てきぱきとした |
| 8. 力強い | 16. 親切な | 24. 優しい | 32. 誰とでも仲良くできる |

2 グループになって、その人に合うなと思う言葉を3つ探して、理由も伝えよう。

____さんは
____で____で____です。
理由は____からです。

<進め方>

1. 自分以外の3人について書く。
2. 全員が書いたら順番に発表する。
 - ・相手の目を見て伝えよう
 - ・「ありがとう」を伝えよう
3. 終わったら紙を交換しあう。
4. 受け取ったら貼る。

「私って、どんな人?～友達編～」NO.2
1年3組 番 氏名()

① 自分が知っている自分の「よさ」
(自分になんとなく合うなと思う語句を3つ選ぼう)

私は _____ で _____ 比べてみよう _____ です。

② 友達が知っている自分の「よさ」

私は _____ で _____ 比べてみよう _____ です。

③ もう一度自分の「よさ」を考えてみよう

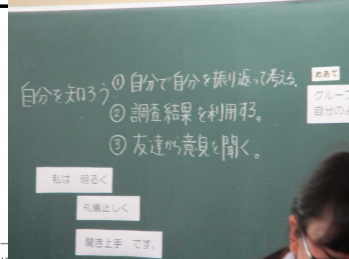
私は _____ で _____ 比べてみよう _____ です。

④ 自分が伸ばしたいと思うところ(行動、性格、学業、運動、趣味、特技など)

私は _____ で _____ 比べてみよう _____ です。

<理由> _____

【気づいたこと、考えたこと、わかったことなど 振り返りを書こう】





授 業 研 究 会

1 授業説明

- ・進路指導で終わらせることなく、自分自身の探究となるように授業展開を考えた。
 - ・ワークシートは、矢印を使って、生徒が取り組む①～④の課題の流れを分かりやすくした。
 - ・グループでの話し合い活動は、熱心に取り組んでいたと思う。1グループの人数は4人程度が時間がかからないと考えた。また、現在の座席で2ヶ月過ぎ、相互理解も深まったため、今回のメンバーで行った。
- ・自己理解が深まったかどうかは今後の行動で確認していきたい。

2 研究協議

(1) 授業者の指示

- 指示や言葉かけが的確で、生徒が活動しやすかった。
- 授業者自身の例示があり、生徒は考えやすかった。

(2) ワークシート

- 整理しやすく、有効であった。
- 「こうなりたい自分」について考えられるように、自分の課題を見つけられる工夫があるとさらによかった。
- 「わたしってどんな人」の選択肢の中に課題となるワードを入れてもよかった

(3) 自分と友達の考えを比較(グループ活動)

- 友達からの助言で、自分の良い所を再発見でき、生徒は自信を持てるようになった。
- 相手の良い所について、具体的な場面やエピソードを伝え合うようにすると、自己理解がさらに深まったのではないかと。
- 自分自身で良いと思った項目の中で、グループの生徒は良いとはしなかったものについて、「何故なんだろう?」と考えたり、もう少し踏み込んだ話し合いができるようになった。

授業の工夫点である、
○授業者の指示
○シンキングツールを用いたワークシート
○自分と友達の考えを比較する場面
それぞれの良かった点・改善点を協議しました!

3 指導助言

(1) 望月教科指導員

- 小学校で行う「いいところ見つけ」とは異なる自分を発見できたのではないかと。友達からの肯定的評価は貴重である。
- ワークシートはよくできていたが、話し合いをもっと踏み込んで、活発な意見交換が行えるとよかった。

(2) 青野指導係長

- ①ワークシート(シンキングツール)
 - ・はばプラⅡとリンクしている。使うことが目的ではなく、使うことによって話し合いが深まる。
 - ・生徒の思考が見える化する。見ることによって次の一歩へつながる。
 - ・課題についてコメントしている生徒を授業者が取りあげると、深い学びとなったであろう。
- ②キャリア教育
 - ・キャリアパスポートとリンクしている。例示が文科省のページに出ているので来年度に向けて準備する必要がある。
 - ・自分の考えだけでなく、友達、家族からの考えを知ることができ、空間的広がりがある。
- ③指導案
 - ・生徒の実態を正確に把握して、授業に生かすことができていた。
 - ・他の学校でも参考になる資料である。

